

はちろうがた

2010年9月定例会 第105号

議会だより

発行：八郎潟町議会

編集：議会広報編集委員会

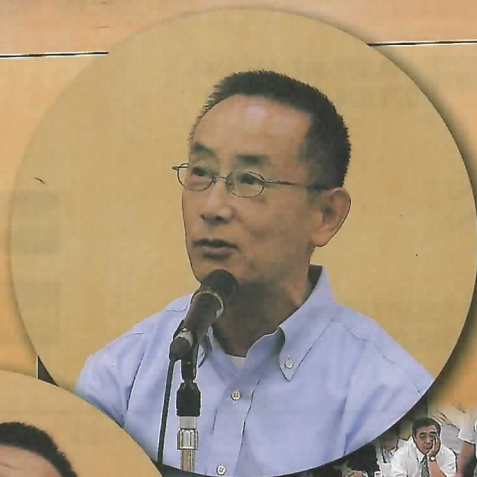
〒018-1692 秋田県南秋田郡八郎潟町字大道80

☎ 018-875-5810

平成22年度 秋田県町村議会議員研修会

講演
「希望の地としての農山村集落」
民俗研究家 結城 登美雄氏

講演
「国内の政治情勢と
これからの政局展望」
慶應義塾大学 総合政策学部教授 草野 厚氏



- ◆ 2～3ページ 平成21年度決算
- ◆ 4～9ページ 一般質問
- ◆ 10～12ページ 決算審査報告
- ◆ 13ページ 提出議案／補正予算
- ◆ 14ページ 各常任委員会の審議
- ◆ 15ページ 広域組合議会報告
- ◆ 16ページ 請願・陳情／議会のうごき



一般会計

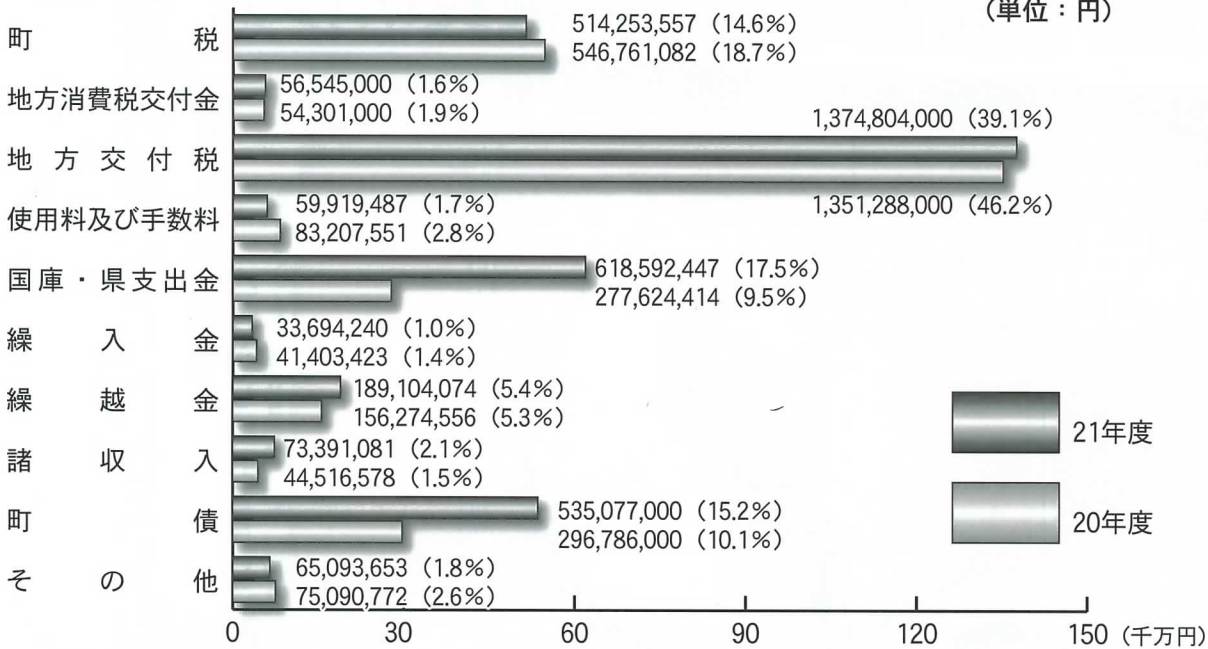
歳入総額	35億2,047万4千円
歳出総額	33億3,102万2千円
差引額	1億8,945万2千円
繰越明許費	2,001万3千円
実質収支	1億6,943万9千円

財政健全化法に基づく4指標の中で、本町が当面する実質公債費比率は18.6%（早期健全化基準25%）で、前年度の20.9%と比較し、2.3%減、将来負担比率は125.1%（早期健全化基準350%）で前年度の155.1%との比較では30%減といずれもかなり改善されつつある。しかし、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率（75%超は注意）は87.0%、公債費比率（10%以下が望ましい）は13.3%とまだまだ財政の健全化に向けた努力が求められる状況にある。

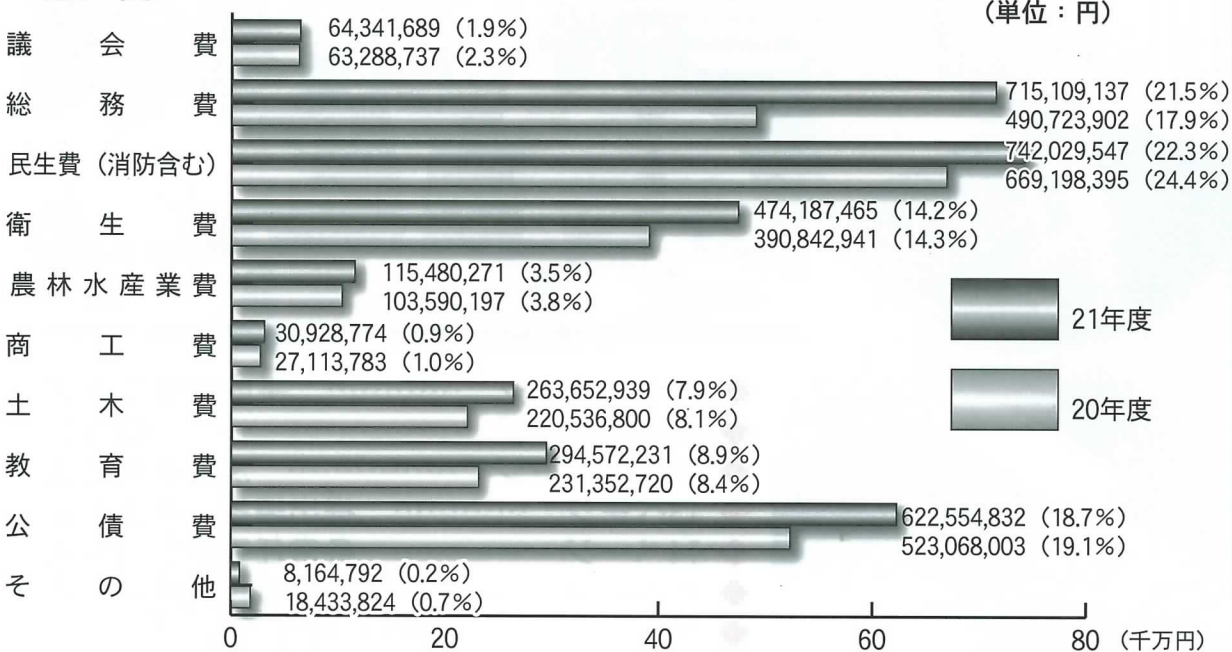
款別決算額

※（ ）内の%は、各年度における比率

〈歳入〉



〈歳出〉



平成21年度
決算を認定

主な財政指標（一般会計）

収支比率・健全化比率

項 目	21年度	20年度
通常収支比率	87.0	92.5
公債費比率	13.3	15.5
実質公債費比率	18.6	20.9
将来負担比率	125.1	155.1

地方債残高

(単位：千円)

項 目	21年度	20年度
地方債	3,612,669	3,635,856

主な実施事業

(単位：千円)

●定額給付金事業（繰越事業）	110,152
●駅前再開発事業（繰越事業）	21,875
●中学校グラウンド改良事業	20,690
●教育施設地上デジタルテレビ化事業	11,111
●海洋センター塗装工事	8,820
●学校施設トイレ洋式化事業	4,719
●弁天球場公共下水道接続工事	6,615
●小学校耐震改修事業	3,276
●上水道整備事業出資金	139,000
●浄水施設整備費補助金	23,100
●老人福祉センター補修工事	17,410
●消防団詰所改修工事	5,399
●地域活力基盤創造交付金事業	49,806
●町道維持補修事業	11,759
●高岳山麓浦城整備委託料	5,777
●農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	2,651

基 金

(単位：円)

区 分	21年度末残高	区 分	21年度末残高
地域振興施設整備基金	1,077,206	国保財政調整基金	60,001,000
財政調整基金	588,934,892	ふるさと保全対策基金	5,000,000
奨学基金	18,883,806	八郎潟町がんばれふるさと基金	824,000
減債基金	50,000,203	介護従事者処遇改善臨時特例基金	4,348,851
地域福祉基金	5,000,000	介護給付費準備基金	10,000,000
まちづくり人材育成基金	3,313,000	合 計	747,400,958

各会計決算総括表

(単位：円)

区 分	収入済額 還付未済額	支出済額	差引残高	繰越明許費	実質収支	
一般会計	3,520,474,539	3,331,021,677	189,452,862	20,013,000	169,439,862	
国民健康保険会計	831,669,168	694,250,579	137,418,589	0	137,418,589	
老人保健会計	6,179,134	4,508,165	1,670,969	0	1,670,969	
後期高齢者医療特別会計	55,118,573	53,486,252	1,632,321	0	1,632,321	
公共下水道会計	445,120,740	439,425,664	5,695,076	80,000	5,615,076	
集落排水会計	30,049,220	28,229,236	1,819,984	0	1,819,984	
介護保険特別会計	介護保険会計 事業勘定	671,922,517	644,246,532	27,675,985	0	27,675,985
	介護保険会計サ ービス事業勘定	59,980				
	2,414,000	2,414,000	0	0	0	
合 計	5,562,947,891	5,197,582,105	365,365,786	20,093,000	345,272,786	
	59,980					

一般質問

進まぬ湖東総合病院



伊藤 秋雄
議員



湖東総合病院

問 ①6月県議会福祉環境委員会で湖東総合病院再編計画骨子案の説明があり100床、医師11名

9月には今回の骨子案を元に医師確保の保障もなく計画されるが、

②5億2千万の赤字が出る見込みで建設費の他に県、4ヶ町村の割合を増して運営費の赤字補填を要望された時は、

③厚生連側は夜間診療、夜間救急は行わないとしているが、地域の要望は

大きいと思う。
④現在、入院患者は30人、9月中に退院させ、入院病棟を閉鎖すると聞か、
⑤厳しい状況の中で今後どのように運動していくか。

町長 ①地元町村、県、厚生連が連携して一体となって医師確保に取り組み。

②改築後、平成25年〜30年まで6年間毎年生じると見込まれる、8,400万の赤字を地元町村が1/3、県が2/3負担する。厚生連への運営費補助は異例である。

③医師の確保が最大の課題。地元町村で医師確保の協議会を立ち上げ積極

的に関与する。

④入院病棟閉鎖の件は9月3日の三者協議。秋大医学部との協議でも報告されていない。厚生連自体も把握していない。

⑤新築計画に早期事業化の成案を示したが、課題は医師確保と考え、私自身も先頭に立って頑張る。

高齢者の調査の取り組み

問 ①8月27日、昼のNHKあきた版ニュース

で100歳以上の所在不明者は16市町村で1,860人、夜のニュースコマでは17市町村で2,123人と報道。本町では75歳以上の高齢者の在宅や所在確認、年金の不正受給者の調査は、

②各地域の民生委員は一人暮らしの老人家庭、心身障害者、生活保護家庭などの弱者一人一人を把握し、コミュニケーションを持ち、どのように活動しているか。災害時の対応マニュアルは、

町長 ①住民票では本町で100歳以上は3名で老人福祉施設に入所。今

年度に100歳になる方2名も入所確認。75歳以上の所在確認は行っていない。100歳以上の戸籍登載者は6名、法務局と協議し対応。

②民生委員は18名。一人当たり140世帯を受け持つ。担当地区の生活困窮者、弱者の把握、福祉表を整備し訪問や見回り活動を行い、相談があれば行政や社協と橋渡しの役目を果たす。今年度中に災害時、要援護者の避難支援計画を作成。

全国学力テスト、生活習慣・学習習慣アンケートについて

問 ①本校の小・中学校は抽出校以外の自主参加でしたが小学6年、中学3年の自己採点の結果はどうか。

②学習習慣や生活習慣を問うアンケート、児童生徒用77問と指導方法を教師に問う学校用(小学6年93問、中学3年92問)の2種類。本校の結果は公表できないか。文部科学省は47都道府県教育委員会に現在の2教科以外

に2012年度から1科目追加を検討している。秋田県教育委員会は「追加すべき」、学力テストは「全校参加」が望ましいと回答。追加すべき教科は社会、理科、英語を挙げているが。

教育長 ①本校の採点なので公表はしない。小学校は平均より上、中学校はやや下。

②県より高い数値は朝食を毎日食べている、家の手伝い、苦手な教科の勉強、決まりを守る、持ち物の確認、自身の長所認識。家庭学習の時間、本やネットを使いグループで調べる活動は数値が低い。中学校で高い数値は

普段の授業で本やネットを使いグループで調べる。挨拶。失敗を恐れず挑戦。地域の行事に参加。家庭学習の時間、早寝、早起きは低い数値。学習状況調査は毎年実施しなくても良い、すべての学校が参加すべき。教科は小学校は社会、理科を加えた4教科。中学校はそれに英語を加えた5教科が望ましい。

一般質問

小中一貫教育の進めについて



金 一義
議員

問 この質問は昨年の12月議会でも提案していましたが、再質問させていただきま。今、構造改革制度の後押しもあり、最近の調査では小中一貫教

育は着実な広がりをもせ、全国の104市区町村教委が小中一貫教育を実施、また70が実施を検討中とあります。わが町においては、10年後の一貫校への移行と計画については、児童数の推移との関係を考えての考えかと思われま。先の、教育振興大会においての討議の中である小学校教師は一つ

例を挙げれば家庭科の授業を今の設備では出来ない(ガスが出ない)。また冬期間の暖房の問題等、小学校の老朽化が進み施設保守管理に多大な費用を投資するより、中学校の新しい設備を共有し10年といわず早期の段階で進めることを考えますが、真摯なる答弁をお願いし

ます。
町長 子どもの人数が、各学年1クラスになるだろうと思われる10年後をめぐりに中学校を核とした一貫校開設を目指す、家庭科の問題は、小学校で中学校の施設を利用するように話ししてある。暖房は、1時間早くボイラーの点火をすることで対応する。

集客力は低下し、我が町も例外にもれなく消費の町外流出、人口の減少、高齢者の増加等また後継者不足などにより商店街も年々衰退しています。また最近デフレが加速してきます。しかし個人消費の財布の紐が固くなっています。このような時世です。わが町単独だけでなくこの年末を商店街に賑わいを出すためにプレミアム付き商品券を発行することを提案します。町長の答弁をお願いします。



八郎潟小学校・中学校

プレミアム付き商品券で、商店街に賑わいを

問 モーターゼーションの進展等を背景に郊外型の大規模小売店やロードサイド大型店舗等が急激に増加した。一方、消費者ニーズの多様化などに伴い、既存の小売店等の

防災に対する役場職員の組織分担は

問 気象庁の7月の天候まとめによると、東日本から西日本にかけて記録的な大雨に見舞われ土砂災害が相次いだとありテレビニュースでその被害状況を目にした記憶はまだ新しいものです。わが町は、最近幸い大きな災

害もなく過ごしていますが、9月は台風シーズンでもあり最近の気候変動からして油断は出来ません。平時の心構えと町民に安心感を与えるためにも、ことある時の混乱をきたさないためにも備えが必要であり職員の役割分担を明確にする必要があるかと思えます。また担当部署の組織分担と庁内での訓練等の経緯等ありましたらお知らせ下さい。防災計画と役場組織の行動について、町民を誘導する場合には防災計画の町民への周知を徹底する必要がありますかと思えますが、いかようになっているのか説明をお願い致します。

町長 住民の生命、財産に甚大な被害をもたらす恐れの場合などにより、災害警戒対策本部が設置される。役場組織機構等が地域防災計画と異なっており、見直しを急ぐ努力している。庁舎内の訓練はしていない。被害を最小限に食い止めるためにも、早期に地域防災計画を見直す必要がある。

一般質問

幼保の今後と保育料への助成を



北嶋 賢子
議員



八郎潟保育園・八郎潟幼稚園

問 幼稚園の午後6時までの延長保育は保護者の希望受け入れと見て評価します。保育園の保育料に助成があれば高負担にならないと思う。幼保の

一体化はもはや待った無しです。3歳までを保育園で、3歳以上は幼稚園。こどもたちは伸び伸びと育み。法人、公立共に活かすには最良の方法とされています。

意味で影響しあい、育ちにつながると評価している。幼保の二元化ですが、現時点では時期尚早と思う。保育園との議論の深まりや歩み寄りが肝要と思っている。

町長 保育料は本町も国の基準に設定している。1/4を町が負担。保育料の引き下げは考えていません。

国保税の負担軽減と滞納者対策に配慮を

問 国保税への国庫の負担を増やすのが基本ですが、一般会計から繰り入れをして国民健康保険税の引き下げで軽減の検討を。井川町では今年も軽減をしています。国保税を納入出来ないから病院に行かない人が出来ないように。国保税の軽減が微収率の向上になると思うが。

住宅リフォーム支援事業について
実施市町村では、補正を組ませる程活気があります。鹿角市も実施方向と聞きました。未実施町は八郎潟町と藤里町のみ。県も8月中には当初予算がすべて執行される見込みとして補正の臨時議会を開きました。町の入札では限られた業者になってしまいます。町全体に仕事が行き届く様な施策を組めないものでしょうか。

町長 本町の資格証明証の発行者は15世帯です。納税相談の中で、いくらかでも納税の意志を示された方には、6ヶ月の短期保険証を発行し3割負担にて医療機関の受診が出来ます。本町の平成20年度、21年度の医療費が19年度に比較して減額傾向にあるので2年間は税率の改正はしていません。国保会計は保険税を徴収する一方で医療費を抑制するための保険事業を展開し独立採算を目ざしており、赤字を招く安易な税率の引き下げは考えて

町長 一般住宅着工件数も激減しており、町内業者に対し公共施設の改修事業を展開し雇用、仕事の確保に務めてきた。現在市町村間で多少の差はあるものの、19市町村が実施しております。が、今のところ住宅リフォーム支援事業については考えていません。しかし、今後の経済動向や県補助事業の動向を注視し検討したいと思っています。

いません。

一般質問

一日市盆踊りの今後の展開について



島山 金美
議員

問 イベント開催は元来盆踊りの活性化が目的であり、現在の町民パワーの分散化は本来の趣旨に完全にマッチしたものでな

のか。私はそのエネルギーがひとつになった盆踊りを見てみたい。
1. イベントを今まで通り実施していくのか
2. 保存会についての現段階での方針は
3. 当局腹案の愛好会についての進展は
町長 イベントは、平成20年度より企画したが、



今年の5区町内会は昔を再現

集客力が小さかった事は否めない。路上ミュージカルについては、今後も継続してほしい。
願人踊り、一日市盆踊りの二つが県指定の無形民俗文化財に指定されており、一日市郷土芸術研究会が保存継承していくのが自然ではないか。
正しい踊りを継承していくためのグループ「愛好会」的な会を発足させるべきとの話が進んでおり、町民こそって参加することにより、熱気に溢れ人を引き付ける盆踊りになると考えている。
運営を積極的に町と一緒に取り組んでもらえる人達がいるとなれば、積極的に受け入れて取り組んでいきたい。

ている町こそが働く意欲に満ちた町民に写るのは当然であり、こうした一見関係のないようなアーカイブ(記録・保管)でも、町の発展に寄与すると思われる。
また、ふるさと納税を期待するより、まず元気な町であるということをお伝えすることが先と思うが、膨大な記録写真があるのだから、町民を看板にして、元気な町のアルバムづくりを考えていく構想はないか。

町長 一般公開については不特定多数の方が閲覧できるので、肖像権の問題や個人情報等の法律関係について検討しながら進めたいと考えている。これらをクリアした場合には、町からの情報発信として、各種行事等で撮影した写真を町の広報誌やホームページ等で特集するなど活用したい。
今後町の情報発信をどのような形で伝えるか検討したうえで、予算や人材発掘について対応したいと考えている。

アーカイブス構想が町の発展に寄与するかにについて

問 今の時代のように、町そのものをくまなく検索されるようになると、情報発信が少ない町に企業が魅力を感じ誘致されて来るとは考えにくい。常に元気な情報を発信し

防災行政無線への再度の要望について

問 待ちかねた春からの農作業は、町民の生産活動はもとより、心身の健康にどれほど役立っている事か。
朝の6時を知らせる放送が無いと、JA女性部はもちろん、他にも多くの方が不便を感じている。うるさいという苦情を優先としているが、朝の時間が分らないというのが今や苦情となっている事をどう受け止めるのか。

町長 近年の労働形態の変化により、夜勤明けの方も多くおり、特に朝の放送に苦情が多く来ているのが現状である。農家の方が朝の農作業に出かける場合は、たいていの方が時計や携帯電話を持参していると思われ、自分で時間管理ができるものと考えている。このことから、時報代わりの放送の必要性は少ないと考えている。

一般質問

高速料金の無料化を含む 民主党政権の評価



八柳 祐孝
議員

問 高速道路の無料化等、現政権の政策が当町に与える影響についてどう捉えているのか。

町長 各政党の政策を全部把握しているわけではない。現政権は生活者重視を掲げている反面、財政上困難が予想されるこ

ともある。今後の動向を見極めながら評価していきたい。高速道路無料化は本町の飲食店等に悪影響が出ていると聞く。逆に秋田市に通勤している人たちからは便利になったとの声もある。だが町の商工業に対しては良くはない。

問 道州制・地方分権の考え方

町長 道州制や地方分権論



五城目・八郎瀧IC

問 町長が地域活性化の目玉と位置づける環境保全米への自己評価について、八郎瀧ブランドを創出しこれを全国に発信していくという発想は良いと思う。しかしPRの仕方に努力や工夫が足りないのではないか。また、B級グルメの開発等で町づくりの起爆剤にしようという試みも各地でなされているが、そ

問 環境保全米の評価と展望

町長 国を大きく左右する問題だが、その範囲や形が明確でないため、枠組み等の案が具体化してきたら考えたい。地方分権は身近に迫っている。市町村間で住民サービスに格差が出ると予想され、私自身や議会の判断は重みを増すだろう。一体化となり対処したい。小規模自治体にとって押しつけの様な形は遺憾である。

問 町政任期折り返しの成果と見直し

町長 任期半ばを迎えた畠山町政の自己評価について先に質問した議員の内容と重複するので、行政の広域化の進展への評価に絞って聞きたい。また公約達成度に自ら点数をつけるのであれば、何点と

ったお金のかわらない活性化に取り組み意志はないか。

町長 会員十名で環境保全米推進協議会を設立して販売を始め昨年は五十七俵の販売実績だった。今年もほぼ同様だが、関東ふるさと会員にダイレクタメールを発送し、町のHPにのせて注文を受けつけている。今後勉強を重ねて販路を拡大していかなければならない。

問 区制について

町長 以前「八郎瀧町行政区域等調査懇談会」を持ち協議した際、やはり混乱を招く現区制は改めるべきとの結論が出された。しかしコスト等のデメリットもあり現在のままとなっている。予定はないが、町民からの要望があれば考えたい。

三十四区に分割されている八郎瀧町の町内会であるが、数字での区分けは現在むしろ町民の混乱を招いているのではないか。一日市・夜叉袋・真坂・浦大町・川崎など、趣きがあつて町民にも愛着のある本来の地域名称を用いたものに改めることを提案したい

ている。八郎瀧ブランドは浸透していないと考え、っており疑問を感じる。全国的にも「八郎瀧」の認知度は高くないと思っている。

平成21年度決算

審査報告

9月8日に各常任委員会へ付託となつた決算議案を、総務教育5名、民生産業6名の委員が関係各課職員から説明を求め、質疑をし、審査を行いました。

審査は、行政が政策遂行上効率よく機能しているか、また、予算配分に基つき適正に使用されているか、公正に町政運営が行われているかを基準として審査いたしました。

その経過と結果についてご報告いたします。



議案第49号

平成21年度八郎潟町一般会計
歳入歳出決算認定について

総務教育

当委員会の決算審査は、9月10日から14日まで各課職員からの説明をもとに、適正かつ経済的な予算執行がなされているか、そしてまた、効率的な行政運営がなされているかに重点をおき審査いたしました。その経過と結果についてご報告いたします。

1. 平成21年度に実施された施策及び事業について

- (1) 多目的広場防災拠点整備事業
- (2) 低公害車公用車更新事業
- (3) 駅前駐輪場改修事業
- (4) 土地・家屋台帳システム整備事業
- (5) 学校地上デジタルテレビ購入、アンテナ改修事業
- (6) 小学校体育館耐震改修事業

3. 健全財政の維持について

平成21年度決算で

① 経常収支比率 87・0%

(前年比▲5・5%)

75・0%以下(望ましい数値)

② 実質収支比率 8・4%

(前年比▲0・7%)

3・0%以下(望ましい数値)

以下(望ましい数値)

③ 公債費比率 13・3%

(前年比▲2・9%)

10・0%以下(望ましい数値)

④ 実質公債費比率 18・6%

(前年比▲2・3%)

25・0%(起債制限値)

となっており、かなり改善されつつあるものの、財政構造の弾力性を判断する経常収支比率、公債費比率についてはまだまだ財政の健全化に向けた努力が求められる状況にあります。

町では、財政の中期計画を立て財政健全化に向けて努力しておりますが、

「八郎潟町総合振興第5次基本構想」に基づく重要施策や継続事業の完成など各種事業の財政需要の増大に対処するため長期を見通した歳入歳出の年次計画を綿密に策定し、今後の町づくりに取り組んでもらいたい。

4. 審査した経過での主な意見

(1) 「町では、各種交付金事業を行っているが、その経済効果を分析しているか。当然比較し、事業効果を確認すべきだ。」との意見に対し「今後、事業の内容について検証し、事業効果について作成するようになりたい。」との答弁がありました。

(2) 「小学校と幼稚園の下水処理が依然として浄化槽で行われているが、早急に公共下水道に接続すべきだ。実施されていないのはなぜか。」との意見に対し、「小学校については、汚水と雨水も浄化槽処理しており、処理水をポンプアップして排水しております。公共下

水に接続して雨水処理浄化槽とポンプアップが必要となることから今後の学校施設のあり方を含めて検討しております。また、幼稚園については、本管までの接続距離が長く工事費がかかり増しするため、工事を見送った経緯があります。公共施設の下水道への接続は必要なことなので今後実施に向け検討したい。」との答弁がありました。

「文化祭と同時に開催されていた、町の産業祭が今は開かれていない。実施すべきだとの農業関係者の声もあり、役場の中で産業部門とも協議し、開催するよううにしていたきたい。」との意見に対し、「教育関係では判断で

◆議案第49号

平成21年度八郎潟町一般会計歳入歳出決算認定について

民生産業

最初に、補正予算関係

の議案第40号、議案第41号、議案第42号、議案第43号、議案第44号、議案

5. 現地視察について

(9月13日(月)午後) 真坂字三倉鼻売却用地 中羽立公園園ランドゴルフ場整備予定地

・幼稚園と家ノ後児童公園に係る国有地との境界現地
・湖東総合病院(熊谷事務長、石井総務課長対応)

以上、慎重審査の結果、全員一致で認定すべきものと決しました。

第45号、議案第46号、議案第47号、議案第48号につきましては、慎重審議の結果、全員一致をもちまして原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

次に、平成21年度の各会計の歳入歳出決算認定についてですが、議案第49号、平成21年度八郎潟町一般会計歳入歳出決算認定についての主な事業

は、町民福祉課関係では、介護基盤緊急整備等臨時特例補助金2,625万円、老人福祉センター補修工事1,617万1,050円、新型インフルエンザワクチン接種事業委託料336万4,100円このほか特定健診の実

◆議案第50号

平成21年度八郎潟町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

歳入総額が8億3,166万9,168円、歳出総額が6億9,425万579円で歳入歳出差引額が1億3,741万

施など総合健診委託料として1,197万5,775円などであります。また、産業建設課関係では、雇用対策事業関係

3年目を迎えた農地・水・農村環境保全向上活動支援事業の町負担分265万1,110円、秋田県水と緑の森づくり税

事業153万3,750円、道路維持舗装関係では、町道補修工事など654万4,650円、地域活力基盤創造交付金事業4,000万円が主なものであります。

8,589円となっております。

歳入の主なものは、国民健康保険税が1億5,229万8,815円で調定額に対する収納率は、前年度を0.4ポイント

◆議案第51号

平成21年度八郎潟町老人保健(医療)特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

歳入総額が617万9,134円、歳出総額が450万8,165円で、歳入歳出差引額が167

を上回る75.9%であります。また、一般会計からの繰入金につきましては、3,812万2,000円となっております。

歳出の主なものは、保険給付費では保険給付費が4億817万253円、後期高齢者支援金等に8,295万4,700円、

万969円となっております。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

◆議案第52号

平成21年度八郎潟町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

民生産業

歳入総額が5,511万8,573円、歳出総額が5,348万6,252円で、歳入歳出差引額が163万2,321円

介護納付金に3,680万9,354円、共同事業拠出金に9,976万1,171円となっております。

慎重審議の結果、賛成多数をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

となっております。

歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料3,303万2,600円、一般会計繰入金として2,075万517円となっております。

歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金として5,142万8,217円となっております。

慎重審議の結果、賛成多数をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

◆議案第53号

平成21年度八郎潟町公共下水道事業
特別会計歳入歳出決算認定について

歳入総額が4億4,512万740円、歳出総額が4億3,942万5,664円、歳入歳出差引額が569万5,076円であります。

歳入の主なものは、使用料6,088万7,470円、収納率は使用料が95・9%、受益者負担金が60・0%となっております、収入未済額が増加傾向にあります。一般会計から

の繰入金1億4,473万7千円となっております。

歳出の主なものは、下水道費では、下水道台帳作成業務委託費744万7,650円、流域下水道事業負担金346万7千円、起債償還金の公債費3億210万6,702円であります。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

181万9,984円であります。

歳入の主なものは、使用料887万7,690円、一般会計からの繰入金は、1,891万2,000円であります。

歳出の主なものは、小池処理区と浦大町処理区

の管理費が565万5,958円、公債費2,257万3,278円となっております。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

◆議案第55号

平成21年度八郎潟町介護保険特別
会計歳入歳出決算認定について

保険事業勘定の歳入総額が6億7,192万2,517円、歳出総額が6億4,424万6,532円、歳入歳出差引額が2,767万5,985円であります。

歳入の主なものは、介護保険料1億986万1,770円で収納率は97・4%であります。

歳出の主なものは、介護認定審査会費707万3,090円、保険給付費5億7,746万9,587円となっております。

次に、介護サービス事業勘定は、歳入総額24

1万4,000円、歳出総額241万4,000円、歳入歳出差引額が0円となっております。

歳入は、介護予防給付費収入214万4,500円、歳出は、保険事業勘定操出金241万4,000円となっております。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

◆議案第56号

平成21年度八郎潟町上水道特別会計
歳入歳出決算認定について

収益勘定における水道事業収益では、給水収益1億3,818万7,900円、水道事業費用では、営業費用9,806万8,532円、営業外費用では支払利息2,062万8,852円水道事業費用総額は、1億1,952万2,408円となっております、平成21年度の純利益は、2,276万7,496円であります。

資本的収入は、5億3,471万9,000円、

収益勘定における水道事業収益では、給水収益1億3,818万7,900円、水道事業費用では、営業費用9,806万8,532円、営業外費用では支払利息2,062万8,852円水道事業費用総額は、1億1,952万2,408円となっております、平成21年度の純利益は、2,276万7,496円であります。

資本的収入は、5億3,471万9,000円、

資本的支出は、5億7,607万3,493円となっております、高度浄水処理施設の建設に伴い決算額は大幅な増額となっております。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

現地視察について

三倉鼻地区落石防護柵設置・日本陸送株式会社有地・尼子館碑・浄水場・防災センターを視察しております。

◆議案第54号

平成21年度八郎潟町農業集落排水事業
特別会計歳入歳出決算認定について

歳入の主なものは、使用料6,088万7,470円、収納率は使用料が95・9%、受益者負担金が60・0%となっております、収入未済額が増加傾向にあります。一般会計から

の繰入金1億4,473万7千円となっております。

歳出の主なものは、下水道費では、下水道台帳作成業務委託費744万7,650円、流域下水道事業負担金346万7千円、起債償還金の公債費3億210万6,702円であります。

慎重審議の結果、全員一致をもちまして、認定すべきものと決定いたしました。

民生産業

歳入総額が3,004万9,220円、歳出総額が2,822万9,236円、歳入歳出差引額が

2,822万9,236円、歳入歳出差引額が



平成22年

八郎潟町議会9月定例会提出議案

議案番号	審 議 案 件	結 果
議案第39号	町有地の処分について	原案可決
議案第40号	平成22年度八郎潟町一般会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第41号	平成22年度八郎潟町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第42号	平成22年度八郎潟町老人保健（医療）特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第43号	平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第44号	平成22年度八郎潟町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第45号	平成22年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計への繰り入れの補正について	原案可決
議案第46号	平成22年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）について	原案可決
議案第47号	平成22年度八郎潟町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第48号	平成22年度八郎潟町上水道特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
議案第49号	平成21年度八郎潟町一般会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第50号	平成21年度八郎潟町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第51号	平成21年度八郎潟町老人保健（医療）特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第52号	平成21年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第53号	平成21年度八郎潟町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第54号	平成21年度八郎潟町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第55号	平成21年度八郎潟町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第56号	平成21年度八郎潟町上水道特別会計歳入歳出決算認定について	原案可決
議案第57号	八郎潟町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて（久米達哉）	原案可決
報告第4号	平成21年度八郎潟町一般会計等財政健全化審査及び平成21年度八郎潟町水道事業会計経営審査について	原案可決

9月定例会補正予算

一般会計及び国保・老保・公共下水道・農業集排・介護保険・上水道などの特別会計補正予算は原案どおり可決されました。

一般会計（主な内容）

○歳入

町有地売却収入 7,482千円

介護保険特別会計繰入金 8,091千円

前年度繰越金 5,154千円

○歳出

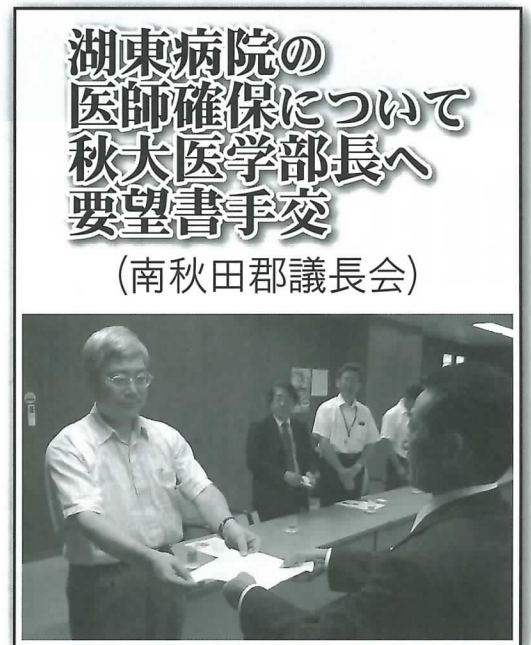
大道公民館及び創作館等修繕料 1,542千円

町道小池岡本下台線からの湖東病院職員通路用地購入等 931千円

町道受取前鳥屋崎線道路改良工事 2,000千円

秋季都市大会及び全県大会等の生徒派遣費 600千円

中羽立公園グランドゴルフ場整備工事 13,000千円



各常任委員会の審議

総務教育常任委員会

問 町有地（真坂字三倉鼻141番2、3）の処分についてだが、売払い価格はどのようにして設定したのか。相手方との合意はあるのか。

答 雑種地や原野との比較例として真坂字沢田の評価額、1㎡あたり1,200円を参考にした。敷地の中には現在まったく

放置されている未整備の雑木地1,000㎡余りも含まれていることなどを考慮すると妥当な価格ではないかと判断している。相手方は承知している。

問 eLTAX（エルタックス）国税連携業務導入委託料の補正は今まであるパソコンによる機能

現在のエルタックスに国税連携の機能追加が必要となることから、全市町村において導入され、交付税措置される。

問 統計調査員の定数を減らし、報酬を更正するのはなぜか。

答 以前とは異なり、郵送提出も可能となり調査員の負担が軽くなったことから県より定数を減じられたことによる。

問 弁天球場隣接地の公園の一部を再整備し、グランドゴルフ場を拡幅する事業について、野球大会があった場合、ファールポールなどでグラウンドゴルフ場利用者の危険も考えられるが、対処方法は。

答 利用場所を制限したり、利用日程を調整するなど配慮し、安全に努めたい。



湖東総合病院の現状視察

ただではまかなえないために実施するものか。

答 町以外で確定申告した申告データが、平成23年1月から国税庁により集約され、各市町村に住民税用としてエルタックスで送信されるため、

民生産業常任委員会

問 今年も残存湖ではアオコが出たが、上水道への影響と対策は。

答 残存湖では結構アオコが出た。町民福祉課でオイルフェンスを設置したので、上流にはアオコがこなかった。但し、今年には猛暑で飲料水の需用量が多かったため残量が少なくなり、夜も職員が出て対応に当たった。

問 出産一時金について、何名を見込んでいるのか。対象はすべての町民か？

答 平成21年度から平成23年度までの年限付きで4万円増の42万円となっている。この4万円については2分の1が国庫補助となっており、今回は国からの本町への割り当てが11名という交付決定に基づくもので、当初の4名に7名分を追加するもの。対象者は国保加入者のみで、現在の出生数は4人である。

問 水質はほとんど変わっていない。下水道流入の水の水質検査は年2回実施している。結果公表はしていないが、今後対処していく。

問 火災警報器設置助成があまり利用されていないのは、周知不足ではないか。

答 13区、25区、28区から町内会単位で、他に個人で2名の申請があった。PRは不足していると思う。



急速濾過池の濾材交換現場を視察

問 下水の水質調査結果は、前年度と比較してどうか。また、調査結果は町民に公表するべ

問 環境保全米を、通年で購入できないかという声もあるし、販売量からして、JAに頼んで低温倉庫に保管できるようにしたらどうか。

答 保全米の販売は10名による推進協議会が実施しているが、現在は半年間の限定販売である。通年販売を目標に設備投資をしてほしいと考えている。

* 広域組合議会報告

湖東地区行政 一部事務組合 議会定例会

第2回定例会が7月8日開催され、提出された議案は総て可決されました。

- 職員の子育休等に関する条例の一部改正
 - 一般職の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
 - 災害対応特殊消防ポンプ自動車整備事業契約の締結（八郎潟分署）
 - 平成21年度一般会計歳入歳出決算の認定
- 歳入合計 5億3千333万6千円
 歳出合計 5億2千241万1千円
 差引額 1千92万5千円

湖東地区行政 一部事務組合 議会研修

期日 22年7月8～9日
 研修先 宮城県栗原市消防本部
 参加組合議員等 15名

（本町、村井剛、近藤美喜雄、三戸留吉「团长」）
 研修内容 ○岩手県・宮城内陸地震での活動状況について
 地震発生 20年6月14日（土）午前8時43分
 震央地 岩手県内陸南部
 震源の深さ 約8km
 マグニチュード7.2
 対策本部設置 20年6月14日
 災害復興対策本部 20年7月14日

被害の概要

死者13人
 行方不明6人
 負傷者180人
 土砂災害83件
 住宅被害（全壊）27件
 半壊128件
 一部損壊1414件
 その他被害、道路・橋・電気・水道・下水道など

○消防団員活動状況

出動日数36日
 延人員2,093人

○消防の広域化について
 宮城県の広域化推進計画
 市町村、消防本部へのアンケートを基に20年12月に計画を策定した。県内3ブロックで集約されている。

八郎湖周辺 清掃事務組合 議会臨時会

6月2日に第2回組合議会臨時会が招集されて

おります。

提出議案

○職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び職員の子育休等に関する条例の一部を改正する条例について
 全会一致をもって可決承認されました。

八郎湖周辺 清掃事務組合 議会研修

視察期間 平成22年7月26日～27日

視察場所

青森県上北郡東北町
 中部上北広域事業組合
 「中部上北清掃センター」

視察者

当組合議会議員8名
 （八郎潟町議 金一義）
 随行2名計10名

研修内容

対応者・中部上北清掃セ

ンター加賀所長他1名
 (1) 組合概要
 構成市町村・七戸町、東北町（2町）
 人口・37,781人

- (2) 清掃センターの概要
 ㈱神戸製鋼所
- 1. 処理能力一日60トン（30t2基）
- 2. 処理方式熱分解ガス化溶融施設
- 3. 運転開始平成12年10月
- 4. 建設費2,948,295千円
- 5. 処理経費21年度実績（261,297千円）
- 6. 処理単価23千円/トン（リサイクル含む）
- 7. 運転形態職員5名、委託16名、「うち知的障害者4名」

八郎潟町・井川町 衛生処理施設組合 議会定例会

第2回定例会が7月15日（木）八郎潟町役場3階会議室にて開催され、提出された議案が可決されました。

○平成21年度八郎潟町・井川町衛生処理施設組合議会一般会計歳入歳出決算の認定

歳入合計 7千307万573円
 歳出合計 7千51万4384円
 差引額 255万6,189円



■ 請願・陳情

受理番号	件名	住所	氏名	件名	付託委員会	本会議結果
6	陳情	能代市	秋田県原爆被害者団体協議会会長 小山 春雄	非核三原則の法制化を求める意見書採択についての陳情	総務教育	採択
7	陳情	秋田市	秋田弁護士会代表者会長 狩野 節子	司法修習生の給費制の存続を求める陳情書	総務教育	採択
8	請願	秋田市	農民運動秋田県連合会委員長 佐藤 長右衛門	免税軽油制度の継続を求める請願	民生産業	採択
9	請願	秋田市	農民運動秋田県連合会委員長 佐藤 長右衛門	米価の大暴落に歯止めをかけるための請願	民生産業	採択



議会のうごき

7月

- 6日 秋田県町村議会議長会理事会 (藤里町)
- 8日 湖東地区行政一部事務組合議会
- 14日 南秋田郡町村議会議長連絡協議会
- 15日 八郎瀧町・井川町衛生処理施設組合議会
- 16日 例月出納検査
- 20日 八老連スポーツ大会 (スパーク八郎瀧)
- 25日 男鹿瀧上南秋支部消防操法大会 (大瀧村)
- 29~30日 決算審査

- 16日 教育振興大会
- 18日 例月出納検査
- 23日 南秋田郡町村議会議員大会 (大瀧村)
- 26~27日 秋田・岩手・青森県町村議会議長研修会 (東京都)

8月

- 2~4日 決算審査
- 3日 県町村議会議員研修会・議会広報研修会 (秋田市)
- 4日 湖東総合病院運営委員会・改築推進協議会 (五城目町)
- 11日 五城目町・八郎瀧町県道整備促進期成同盟会
- 15日 成人式

9月

- 1日 秋大医学部へ要望書提出 (南秋町村議長連絡協議会)
- 2日 議会運営委員会・広報編集委員会
- 8日 定例会
- 14日 敬老式
- 15日 広報編集委員会
- 16日 定例会最終日
- 21日 広報編集委員会
- 22日 例月出納検査
- 24日 広報編集委員会



◆議会広報編集委員会
委員長 北嶋 賢子
副委員長 菊地 文人
委員 近藤 美喜雄
小島 山藤 金喜雄
三戸 留吉

この夏最大の関心事は、なんと
言っても参議院議員選挙でした。
本町の石井浩郎氏が17日間の選
挙戦を戦いぬぎ、現職の鈴木陽悦
氏に10万票余りの大差で圧勝した
ことです。何ものにもとらわれな
い誠実な人柄と、果敢に挑戦する
その姿勢が、プロ野球で名をはせ
たこととあいまって、高く評価さ
れたものと思います。おめでとう
ございました。

新時代の国、秋田の将来展望に
大きな役割を果たしてくることに
を期待したい。

もう一つの話は、連日の猛暑
とゲリラ豪雨、一体どうなってい
るのか、同じような極端な状況が
起こるとすればこの冬が心配です。
町民の皆さんも体調に十分お気
をつけ下さい。まずはご自愛のほ
どを……。

あつい夏でした。
(近藤)

編集後記